

# 令和7年度 横浜市救急医療センター事業計画

## 1 事業目的

救急医療の公共性と重要性を十分に認識し、市内医療関係機関の連携、協調のもとに初期救急医療における夜間の応急的な診察等を行う施設として、効率的かつ創意工夫に基づいた取り組みに努め、市全体の医療の質の向上に貢献します。

## 2 施設概要

### ① 横浜市健康福祉総合センター 1～3階

- (1) 所在地 横浜市中区桜木町一丁目1番地
- (2) 延床面積 2,488.522㎡
- (3) 敷地面積 1,729.70㎡(内、建物面積:1,158.35㎡)
- (4) 構造 鉄筋コンクリート造、地上11階・地下2階・塔屋1建
- (5) 開設 昭和56年5月11日

## 3 夜間急病センター

### ① 診療科目等

- (1) 診療科目 内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
- (2) 診療日 毎日
- (3) 診療時間 20:00～24:00

### ② 診療体制

#### (1) 職員数

- ア センター長 1名(医師)
- イ 常勤 11名(事務職6名,看護職5名)
- ウ 非常勤

医師・薬剤師・検査技師・放射線技師・看護師・事務員

#### (2) 夜間勤務体制

概ね、以下の人員配置とし患者の動向により、適宜人員を増減する。

(単位:人)

		平日	土曜日	日・祝日	二連休	三・四連休	年末年始
医 師	内 科	2	2	2	2	2	3
	小 児 科	1	2	2	2	2	2
	眼 科	1	1	1	1	1	1
	耳鼻咽喉科	1	1	1	2	2	2
	小 計	5	6	6	7	7	8
	薬 剤 師	2	3	3	4	5	6
	検 査 技 師	1	1	1	1	1	1
	放 射 線 技 師	1	1	1	1	1	1
	看 護 師	5(7)	7(9)	7(9)	8(10)	8(10)	9(11)
	事 務 員	4(6)	5(7)	5(7)	5(7)	6(8)	6(8)

※ 看護師・事務員の( )内は、常勤職員を含めた人数

#### 4 救急医療センター運営に必要な施設の維持管理

専門業者による管理・点検のもと日々の清掃、修繕など設備維持管理に努めます。  
必要に応じ当ビル他団体の施設管理者との協議の上、施設整備を遂行します。

#### 5 円滑な医療連携を確保するための具体的な計画

患者の病態により、高次医療や専門医療による治療が必要と診断した際には、横浜市の救急医療体制に則り、迅速かつ適切に転送、紹介を行います。転送する場合は、診察医は転送先の医師の受け入れ許可を得た上で実施します。また、日々刻々と変化する応需情報を横浜市救急医療情報システムや神奈川県救急医療情報システムより情報収集し準備します。日ごろから市内の基幹病院、2次病院、診療所と協力関係を構築し連携体制を推進します。

#### 6 感染症対策

感染症患者の隔離スペース並びに特診室を設置します。また、スタッフへの感染防止のため防護服等を着用の上診察を行います。また、関係機関への報告等を迅速に行います。

#### 7 センター業務全般にかかるサービス水準の維持、向上に関する具体的な計画

##### ① 需要に応じたスタッフの配置

迅速に受診できるよう、患者数の増減に合わせ、スタッフも柔軟に増員し対応します。

##### ② 各種設備の維持管理、更新

医療設備・器具の平時からのメンテナンス、適切な機器の導入・更新を行います。

##### ③ 接遇や医療技術の向上のための職員研修の実施

患者様へのより良い接遇、看護・医療技術の研鑽のため職員研修を行います。

#### 8 センター機能を円滑に行う為の計画

##### ① マンパワーの確保

診療医師を十分に確保することを第一とし、看護師、コメディカル、事務スタッフなどの人材の採用、育成に努めます。

##### ② 効率的な運営

無駄な経費、業務を減らすと同時に必要な設備投資することにより効率的な経営を目指します。

##### ③ DX化の推進

ICTの進化に伴うより便利かつ効率的なサービスを積極的に導入していきます。

##### ④ 報連相の励行

医師をはじめ様々な職種多くのスタッフが関わるとともに、人の命に関わる業務であることを踏まえ、医療事故リスクを減らすためにも、日ごろから報告、連絡、相談を迅速かつ適切に行うよう徹底します。

#### 9 市民広報・啓発など市民向けの事業計画

##### ① ホームページにおいて、分かりやすい利用方法やタイムリーな健康情報を発信して行きます。

##### ② 横浜市医師会市民広報誌「みんなの健康」に利用案内を掲載し周知を図ります。

##### ③ 横浜市医師会提供のラジオ番組「みんなの健康ラジオ」(ラジオ日本)において、夜間急病センター等の初期救急医療の適切な利用方法について啓発を図ります。

## 令和7年度 横浜市救急医療センター収支予算書

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
<b>I 事業活動収支の部</b>					
<b>1 事業収入</b>	<b>311,750,000</b>	<b>308,430,000</b>	<b>3,320,000</b>	@14,000×22,265人（61人/日） （R5年度23,033人,R4年度16,806人,R3年度11,716人,R2年度10,853人,R1年度23,933人）	
1 診療報酬収入	311,750,000	308,430,000	3,320,000		
1 内 科	111,600,000	101,780,000	9,820,000		平均 14人/日
2 小児科	101,620,000	95,610,000	6,010,000		平均 17人/日
3 耳鼻咽喉科	64,530,000	67,860,000	△ 3,330,000		平均 18人/日
4 眼 科	34,000,000	43,180,000	△ 9,180,000	平均 12人/日	
<b>2 補助金等収入</b>	<b>201,220,000</b>	<b>429,553,000</b>	<b>△ 228,333,000</b>	本業務の当年度会計における損失額相当（市の予算範囲内で補填を行う基本協定）	
1 横浜市指定管理料収入	201,220,000	394,000,000	△ 192,780,000		
2 横浜市運営支援（損失額相当）	0	35,553,000	△ 35,553,000		
<b>3 雑 収 入</b>	<b>1,510,000</b>	<b>1,510,000</b>	<b>0</b>		
1 受取利息収入	10,000	10,000	0		
2 雑収入	1,500,000	1,500,000	0		
<b>4 他会計からの繰入金収入</b>	<b>1,000</b>	<b>1,000</b>	<b>0</b>		
1 法人会計からの繰入金収入	1,000	1,000	0		
<b>事業活動収入計 (A)</b>	<b>514,481,000</b>	<b>739,494,000</b>	<b>△ 225,013,000</b>		

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>2 事業活動支出</b>				
<b>1 事業費支出</b>	<b>372,021,000</b>	<b>600,852,000</b>	<b>△ 228,831,000</b>	
<b>1 人件費支出</b>	<b>287,021,000</b>	<b>284,852,000</b>	<b>2,169,000</b>	
1 医師報酬支出	143,500,000	143,000,000	500,000	平日5名、土日祝6名、2連休3連休7名、年末年始8名
2 役員報酬支出	1,800,000	1,800,000	0	
3 薬剤師会委託料支出	29,000,000	29,000,000	0	平日2名、土日祝3名、2連休4名、3連休5名、年末年始6名
4 放射線技師会委託料支出	6,100,000	6,000,000	100,000	1名/日
5 検査技師会委託料支出	7,100,000	7,100,000	0	1名/日
6 常勤看護師給	34,249,000	32,947,000	1,302,000	5名
7 非常勤看護師給	40,000,000	40,000,000	0	平日5名、土日祝7名、2連休3連休8名、年末年始9名
8 非常勤事務員給	20,000,000	20,000,000	0	平日4名、土日祝2連休5名、3連休年末年始6名
9 法定福利費支出	5,272,000	5,005,000	267,000	
<b>2 医療材料費支出</b>	<b>34,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	<b>14,000,000</b>	
1 医薬材料費支出	34,000,000	20,000,000	14,000,000	
<b>3 使用料及び賃借料支出</b>	<b>3,000,000</b>	<b>3,000,000</b>	<b>0</b>	
<b>4 委託料支出その他支出</b>	<b>48,000,000</b>	<b>47,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	
1 出動旅費支出	44,000,000	43,000,000	1,000,000	
2 医会出動調整費支出	4,000,000	4,000,000	0	内科、小児科、耳鼻科、眼科各医会出動調整費
<b>5 救急医療情報センター事業費支出</b>	<b>0</b>	<b>246,000,000</b>	<b>△ 246,000,000</b>	
1 オペレーター委託費	0	230,000,000	△ 230,000,000	事業終了
2 その他委託費	0	16,000,000	△ 16,000,000	事業終了
<b>2 共通管理費支出</b>	<b>132,684,000</b>	<b>132,160,000</b>	<b>524,000</b>	
<b>1 人件費支出</b>	<b>53,924,000</b>	<b>52,520,000</b>	<b>1,404,000</b>	
1 常勤事務員給	45,812,000	44,669,000	1,143,000	6.5名(常勤6名+共通0.5名)
2 法定福利費支出	7,112,000	6,851,000	261,000	
3 福利厚生費支出	1,000,000	1,000,000	0	

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>2 研究研修費支出</b>	<b>151,000</b>	<b>151,000</b>	<b>0</b>	建物設備管理・保守、警備費 他
1 職員研修費支出	100,000	100,000	0	
2 広告宣伝費支出	1,000	1,000	0	
3 費用弁償費支出	50,000	50,000	0	
<b>3 建物管理費支出</b>	<b>35,000,000</b>	<b>36,000,000</b>	<b>△ 1,000,000</b>	
1 会館保守費支出	35,000,000	36,000,000	△ 1,000,000	
<b>4 委託料支出その他支出</b>	<b>43,609,000</b>	<b>43,489,000</b>	<b>120,000</b>	
1 旅費交通費支出	2,000,000	2,000,000	0	
2 消耗品費支出	7,000,000	5,500,000	1,500,000	
3 通信運搬費支出	2,200,000	2,150,000	50,000	
4 被服費支出	2,500,000	2,400,000	100,000	
5 修繕費支出	2,000,000	2,000,000	0	
6 印刷製本費支出	700,000	1,000,000	△ 300,000	
7 光熱水料費支出	12,309,000	13,789,000	△ 1,480,000	
8 交際費支出	100,000	100,000	0	
9 保険料支出	1,000,000	1,000,000	0	
10 消耗什器備品費支出	4,000,000	1,000,000	3,000,000	
11 会議費支出	500,000	550,000	△ 50,000	
12 その他委託費	2,800,000	0	2,800,000	
13 租税公課支出	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000	
14 雑支出	500,000	1,000,000	△ 500,000	
<b>3 他会計への繰入金支出</b>	<b>5,226,000</b>	<b>4,897,000</b>	<b>329,000</b>	共通経費(人件費)
1 法人会計への繰入金支出	5,226,000	4,897,000	329,000	
<b>事業活動支出計 (B)</b>	<b>509,931,000</b>	<b>737,909,000</b>	<b>△ 227,978,000</b>	
<b>事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)</b>	<b>4,550,000</b>	<b>1,585,000</b>	<b>2,965,000</b>	

<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1 投資活動支出</b>				
<b>1 固定資産取得支出</b>	0	0	0	
1 備品購入支出	0	0	0	
<b>投資活動支出計 (D)</b>	0	0	0	
<b>投資活動収支差額 (E)=- (D)</b>	0	0	0	
<b>IV 予備費支出 (I)</b>	0	0	0	
<b>当期収支差額 (J)=(C)+(E)+(G)+(H)-(I)</b>	4,550,000	1,585,000	2,965,000	
<b>前期繰越収支差額 (K)</b>	100,000,000	130,000,000	△ 30,000,000	
<b>次期繰越収支差額 (L)=(J)+(K)</b>	104,550,000	131,585,000	△ 27,035,000	